

## 2022年度第1四半期報告

なないろ生命保険株式会社(社長 石島 健一郎)の2022年度第1四半期(2022年4月1日～2022年6月30日)の業績は添付のとおりです。

### <目次>

1. 主要業績	…… 1 頁
2. 資産運用の実績 (一般勘定)	…… 2 頁
3. 四半期貸借対照表	…… 3 頁
4. 四半期損益計算書	…… 4 頁
5. 経常利益等の明細 (基礎利益)	…… 6 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	…… 7 頁
7. 特別勘定の状況	…… 7 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	…… 7 頁

以 上

## 1. 主要業績

### (1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、百万円、%)

区 分	2021年度末		2022年度 第1四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個 人 保 険	56	-	96	170.0	-	-
個 人 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-

・新契約高

(単位：千件、百万円、%)

区 分	2022年度 第1四半期累計期間					
	件 数	金 額				
		前年 同期比	前年 同期比	新契約	転換による 純増加	
個 人 保 険	41	-	-	-	-	-
個 人 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-

### (2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度末	2022年度 第1四半期会計期間末	
		前年度末比	前年度末比
個 人 保 険	3,710	6,364	172.0
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	3,710	6,364	172.0
うち第三分野	3,710	6,364	172.0

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2022年度 第1四半期累計期間	
	前年同期比	前年同期比
個 人 保 険	2,805	-
個 人 年 金 保 険	-	-
合 計	2,805	-
うち第三分野	2,805	-

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。
2. うち第三分野については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

## 2. 資産運用の実績（一般勘定）

### （1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2021年度末		2022年度 第1四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	6,155	27.9	17,469	44.1
買現先勘定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-
商品有価証券	-	-	-	-
金銭の信託	-	-	-	-
有価証券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	-	-	-	-
貸付金	-	-	-	-
不 動 産	360	1.6	357	0.9
繰延税金資産	-	-	304	0.8
そ の 他	15,567	70.5	21,455	54.2
貸倒引当金	-	-	-	-
合 計	22,083	100.0	39,586	100.0
うち外貨建資産	-	-	-	-

（注）不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

### （2）有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外）

該当事項はございません。

### （3）金銭の信託の時価情報

該当事項はございません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	2021年度末 要約貸借対照表 (2022年3月31日現在)	2022年度 第1四半期会計期間末 (2022年6月30日現在)
		金 額	金 額
( 資 産 の 部 )			
現 金 及 び 預 貯 金		6,155	17,469
有 形 固 定 資 産		556	536
無 形 固 定 資 産		5,532	5,755
代 理 店 貸 貸		-	0
再 保 險 貸 貸		6,394	10,798
そ の 他 資 産		3,444	4,722
繰 延 税 金 資 産		-	304
資 産 の 部 合 計		22,083	39,586
( 負 債 の 部 )			
保 險 契 約 準 備 金		498	1,167
支 払 備 金		6	338
責 任 準 備 金		491	829
再 保 險 借 債		23	41
そ の 他 負 債		1,518	2,373
未 払 法 人 税 等		10	4
未 払 金		128	450
未 払 費 用		1,252	1,774
資 産 除 去 債 務		115	116
そ の 他 の 負 債		9	27
繰 延 税 金 負 債		26	-
負 債 の 部 合 計		2,067	3,582
( 純 資 産 の 部 )			
資 本 金		12,500	21,000
資 本 剰 余 金		12,500	21,000
資 本 準 備 金		12,500	21,000
利 益 剰 余 金		△4,984	△5,995
そ の 他 利 益 剰 余 金		△4,984	△5,995
繰 越 利 益 剰 余 金		△4,984	△5,995
株 主 資 本 合 計		20,015	36,004
純 資 産 の 部 合 計		20,015	36,004
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		22,083	39,586

#### 4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2021年度 第1四半期累計期間 (2021年4月1日から 2021年6月30日まで)	2022年度 第1四半期累計期間 (2022年4月1日から 2022年6月30日まで)
		金 額	金 額
経 常 収 益		0	6,957
保 険 料 等 収 入		-	6,862
保 険 料		-	1,236
再 保 険 収 入		-	5,625
資 産 運 用 収 益		0	-
利息及び配当金等収入		0	-
そ の 他 経 常 収 益		-	95
経 常 費 用		740	8,753
保 険 金 等 支 払 金		-	1,493
給 付 金		-	227
そ の 他 返 戻 金		-	5
再 保 険 料		-	1,260
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		-	669
支 払 備 金 繰 入 額		-	331
責 任 準 備 金 繰 入 額		-	337
資 産 運 用 費 用		-	0
支 払 利 息		-	0
事 業 費 用		611	5,669
そ の 他 経 常 費 用		128	921
経常利益(△は経常損失)		△740	△1,795
税引前四半期純利益 (△は税引前四半期純損失)		△740	△1,795
法 人 税 及 び 住 民 税		0	△453
法 人 税 等 調 整 額		-	△331
法 人 税 等 合 計		0	△784
四 半 期 純 利 益 (△は四半期純損失)		△741	△1,011

## 注記事項

(四半期貸借対照表及び株主資本等変動計算書関係)

2022 年度第 1 四半期会計期間末	
1.	当第 1 四半期会計期間より、当社は、朝日生命保険相互会社を通算親会社とするグループ通算制度を適用しており、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第 42 号 2021 年 8 月 12 日)に従って法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理を行っております。
2.	平成 8 年大蔵省告示第 50 号第 1 条第 5 項に規定する再保険契約に係る未償却出再手数料の当第 1 四半期会計期間末残高は 10,788 百万円であります。
3.	当社は、2022 年 4 月 15 日付で、朝日生命保険相互会社から株主割当増資の払い込みを受けた結果、当第 1 四半期累計期間において資本金が 8,500 百万円、資本準備金が 8,500 百万円増加し、当第 1 四半期会計期間末において資本金が 21,000 百万円、資本準備金が 21,000 百万円となっております。

(四半期損益計算書関係)

2022 年度第 1 四半期累計期間	
1.	再保険収入には、平成 8 年大蔵省告示第 50 号第 1 条第 5 項に規定する再保険契約に係る未償却出再手数料の増加額 5,219 百万円を含んでおります。
2.	再保険料には、平成 8 年大蔵省告示第 50 号第 1 条第 5 項に規定する再保険契約に係る未償却出再手数料の減少額 823 百万円を含んでおります。
3.	1 株当たり四半期純損失は 25,670 円 51 銭であります。

## 5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

		2022年度 第1四半期累計期間
基礎利益	A	△1,608
キャピタル収益		-
	金銭の信託運用益	-
	売買目的有価証券運用益	-
	有価証券売却益	-
	金融派生商品収益	-
	為替差益	-
	その他キャピタル収益	-
キャピタル費用		-
	金銭の信託運用損	-
	売買目的有価証券運用損	-
	有価証券売却損	-
	有価証券評価損	-
	金融派生商品費用	-
	為替差損	-
	その他キャピタル費用	-
キャピタル損益	B	-
キャピタル損益含み基礎利益	A + B	△1,608
臨時収益		-
	再保険収入	-
	危険準備金戻入額	-
	個別貸倒引当金戻入額	-
	その他臨時収益	-
臨時費用		187
	再保険料	-
	危険準備金繰入額	187
	個別貸倒引当金繰入額	-
	特定海外債権引当勘定繰入額	-
	貸付金償却	-
	その他臨時費用	-
臨時損益	C	△187
経常利益	A + B + C	△1,795

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2021年度末	2022年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	20,251	36,428
資本金等	20,015	36,004
価格変動準備金	-	-
危険準備金	236	423
一般貸倒引当金	-	-
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)) × 90% (マイナスの場合100%)	-	-
土地の含み損益 × 85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	0
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
持込資本金等	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	278	530
保険リスク相当額 R1	-	-
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	236	423
予定利率リスク相当額 R2	0	0
最低保証リスク相当額 R7	-	-
資産運用リスク相当額 R3	125	282
経営管理リスク相当額 R4	10	21
ソルベンシー・マージン比率		
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	14,552.5%	13,742.5%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

## 7. 特別勘定の状況

該当事項はございません。

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当事項はございません。